

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

京都府八幡市 八幡市営駐車場

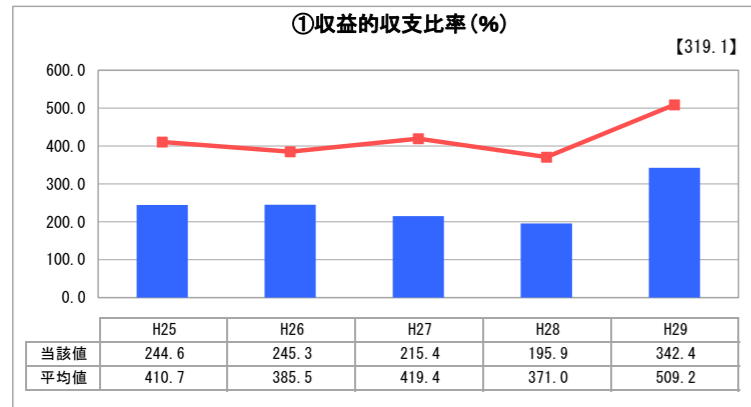
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	34	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
駅	無	2,380
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
72	100	導入なし

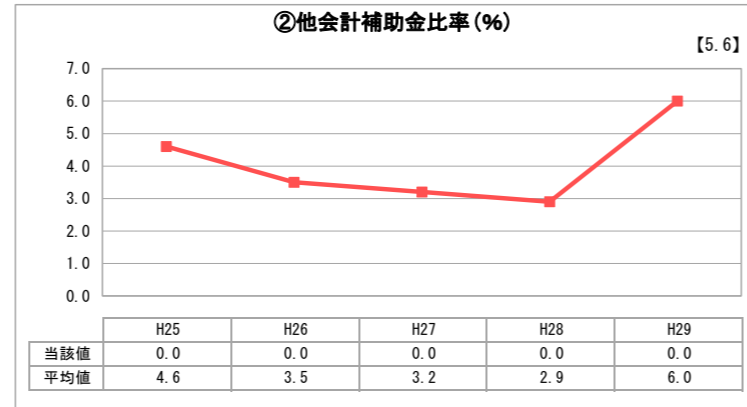
**グラフ凡例**

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 収益等の状況

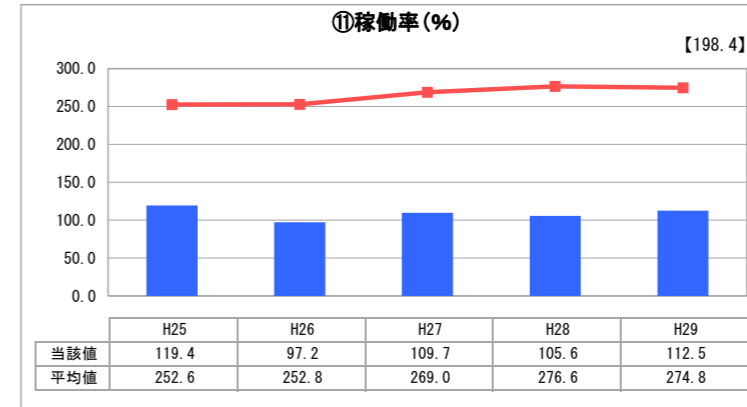


「経常損益」

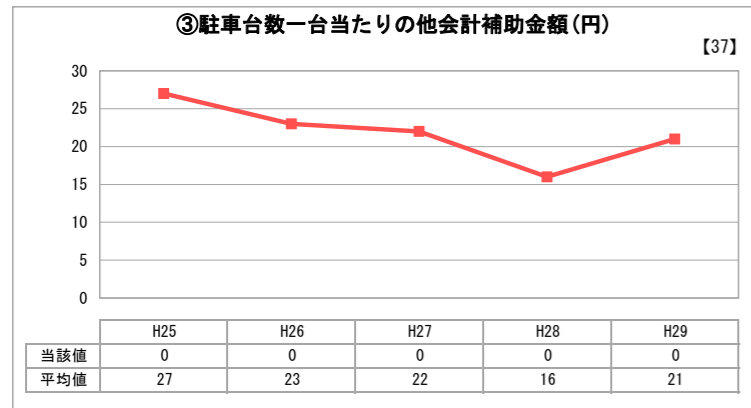


「他会計補助金割合」

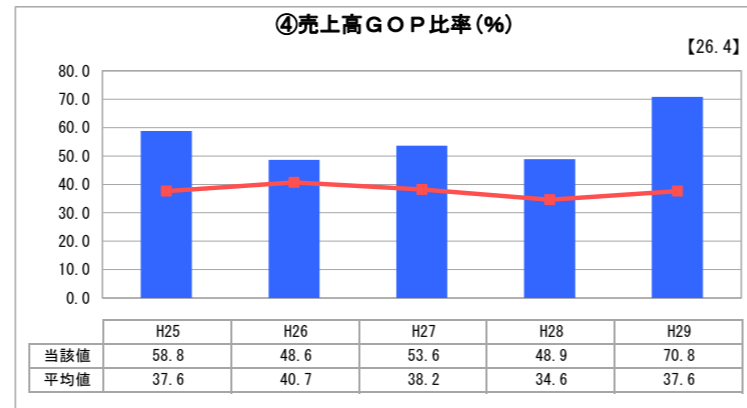
## 3. 利用の状況



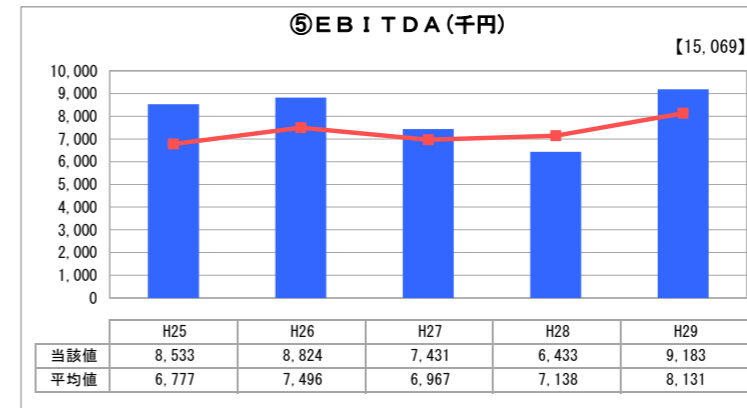
「施設の効率性」



「他会計補助金額」



「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

## 2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

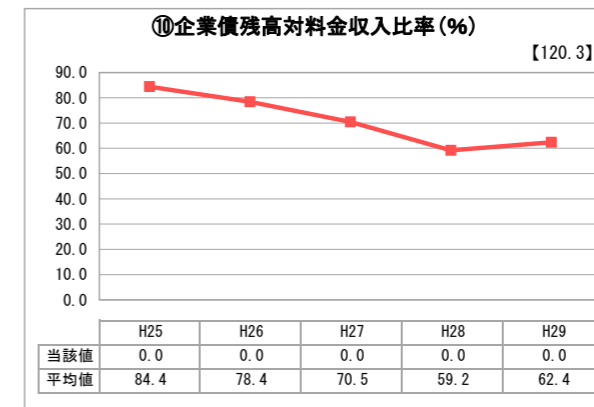
78,468

⑧設備投資見込額(千円)

0



「累積欠損」



「債務残高」

## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
平成25年度から平成28年度にかけては、営業総利益が、減少傾向にあったが、平成29年度は、過年度と比較して増加している。要因としては、当該駐車場に導入している料金システム機器がリース期間の満了に伴い、無償譲渡されたことにより、営業費用が減少したことによるものである。現在は過不足なくシステム機器は稼働しているが、近い将来、機器に支障が生じた際には営業費用が新たに発生し、これまで以上に営業総利益が減少する可能性がある。

**2. 資産等の状況について**  
企業債の借入れもなく、また、今後10年の大規模な設備投資の見込みもないが、今後健全な運営を行っていく上で見直していくべきところである。

**3. 利用の状況について**  
平成26年度と平成28年度については駐車場前面道路の工事の影響により、一部の期間迂回して入場する必要があったことから利用台数が伸び悩んだが、そうした外的要因を除けば、全ての年度において同水準の稼働率を維持している。

## 全体総括

当該事業は、黒字事業ではあるが、収益性は減少傾向にある。また、将来料金システム機器をはじめとする設備の更新等による営業費用の増加も考えられる。このことから、使用料収入を増加することが喫緊の課題である。